

平成29年9月中間期 損保決算概況について

1. 保険引受の概況

(1) 正味収入保険料

正味収入保険料は、火災保険や自動車保険の増収などにより、前中間期に比べ2.3%(938億円)増加して4兆2,541億円となりました。

(2) 正味支払保険金

正味支払保険金は、熊本地震に係る支払いのあった前中間期に比べ△7.4%(△1,775億円)減少して2兆2,290億円となりました。

正味収入保険料の増加と正味支払保険金の減少により、損害率は前中間期に比べ5.7ポイント低下して57.7%となりました。

《参考》

国内自然災害に係る正味発生保険金(注)

	正味発生保険金		
		正味支払保険金	未払保険金
29年9月中間期	979億円	271億円	708億円
28年9月中間期	1,311億円	421億円	890億円

(注) 各年度の中間期に発生した国内自然災害による全種目合計(家計地震保険を除く)の発生保険金額。

正味発生保険金=正味支払保険金+未払保険金

未払保険金とは、支払備金に繰り入れた金額。

(3) 事業費

保険引受に係る営業費及び一般管理費は、前中間期に比べ0.7%増加して5,964億円となりました。

諸手数料及び集金費は、前中間期に比べ3.4%増加して7,544億円となりました。

事業費率は、正味収入保険料の増加により前中間期と同じ31.8%となりました。

損害率と事業費率を合計したコンバインド・レシオは、前中間期に比べ5.7ポイント低下して89.5%となりました。

(4) 保険引受利益

保険引受利益は、本年8月から9月にかけて北米で発生したハリケーンの影響などにより、前中間期に比べ△958億円減少して1,024億円となりました。

2. 資産運用の概況

資産運用収益は、利息及び配当金収入や有価証券売却益の増加などにより、前中間期に比べ32.7%増益の3,627億円となりました。

資産運用費用は、前中間期に比べ3.6%増加して514億円となりました。

資産運用収益から資産運用費用を差し引いた資産運用粗利益は、前中間期に比べ39.1%増益の3,114億円となりました。

3. 経常利益・中間純利益

経常利益は前中間期に比べ△120億円減益の3,783億円となりました。

経常利益に特別損益や法人税等合計を加減算した中間純利益は、特別利益の増加などにより、前中間期に比べ116億円増益の2,964億円となりました。

4. 総資産

総資産は、28年度末に比べ2.4%増加して32兆3,052億円となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

ソルベンシー・マージン比率は、協会加盟会社全社とも法律で求める水準を超えており、経営の健全性について問題ない水準となっています。